



# 美幌町

暮らしと防災  
ガイドブック 2017

保存版

- 美幌町プロフィール
- 美幌町各種ご案内
- 美幌町全体マップ

美幌町 株式会社ゼンリン

2017年3月発行

# 美幌町

## 暮らしと防災 ガイドブック 2017

『美幌町 暮らしと防災ガイドブック 2017』は、美幌町と株式会社ゼンリンが協力して発行する、美幌町民のための暮らしのガイドブックです。

美幌町の行政情報、防災情報、公共施設情報、地域情報など、生活にかかせない情報や便利な情報などを掲載しています。

ご家庭の生活情報誌としてご利用ください。

本誌に掲載されている情報は、内容に変更が生じる場合もございます。

## CONTENTS

特集 防災 .....	2
自治会加入・地域スポーツクラブ・ スポーツ少年団・マナセン利用サークル .....	16
ワンコインバス .....	17
ごみ分別 .....	18
住民異動・戸籍届・通知カード・ 個人番号カード・国民年金 .....	19
印鑑登録・パスポート・各種証明 .....	20
税金 .....	21
健康・健診・病院 .....	22
子育て .....	24
国民健康保険 .....	27
介護保険・後期高齢・福祉医療 .....	28
高齢者福祉 .....	29
障がい者福祉 .....	30
水道 .....	31
施設紹介 .....	32
相談 .....	34
全体図 .....	35
広域・役場周辺・詳細MAP1~4 .....	36
町のプロフィール .....	48

# 美幌町で想定される 災害と基礎知識

## 日本は世界有数の地震国

世界有数の地震国である日本は、昔から地震による多くの被害を受けてきました。  
近年では、阪神・淡路大震災、新潟県中越地震、戦後最大の被害となる東日本大震災が平成23年に、そして平成28年には熊本地震が発生し、特に東日本大震災、熊本地震では本震に続いて大きな余震が頻発しました。

## 地震の揺れと想定される被害

震度	想定される被害	震度	想定される被害
震度 0	● 人は揺れを感じない。	震度 5弱	● 棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。 ● まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。 ● 電柱が揺れていることがわかる。
震度 1	● 屋内で静かにしている人の中には、わずかに揺れを感じる人がある。	震度 5強	● ものにつかまらなさと歩くことが難しい。 ● 固定していない家具が倒れることがある。 ● 自動車の運転が困難になる。
震度 2	● 屋内で静かにしている人の大半が揺れを感じる。 ● つり下がった電灯などがわずかに揺れる	震度 6弱	● 立っていることが困難になる。 ● 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ● 耐震性の低い木造住宅では、倒壊することもある。
震度 3	● 屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。 ● 棚にある食器類が音を立てることがある。 ● 電線が少し揺れる。	震度 6強	● はわないと動くことができない。 ● 固定していない家具のほとんどが移動、倒れるものが増える。 ● 耐震性の高い木造住宅でも、壁などにひび割れ・亀裂が見られることがある。
震度 4	● ほとんどの人が驚く。 ● つり下げたものは大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。 ● 自動車を運転していて、揺れに気づく人がいる。	震度 7	● 揺れにほんろうされる。 ● ほとんど家具が移動し、飛ぶものもある。 ● 耐震性の高い木造住宅でも、まれに傾くことがある。

## 災害弱者の安全のために

高齢者・寝たきりの方のために



- (日ごろの備え) ● 室内はできるだけ広くし、家具や棚の上に重いもの、角があるものを置かない。
- (災害時には) ● あわてて外に飛び出さない。  
● 本震がおさまっても余震に備えて、家の中の安全な場所に移動する。
- (介助者へ) ● 緊急のときは、おぶって安全な場所まで避難する。  
● 複数の介助者で対応する。  
● 不安を取り除くように声をかける。

## 地震が起きたらどうする？

大きな地震が発生したら、冷静に対応するのは難しいものですが、一瞬の判断で生死を分けることもあります。地震が起きても「あわてず、落ち着いて」行動するために、以下の行動パターンを覚えておきましょう。

- 落ち着いて、自分の身を守る ..... **地震発生**  
机の下などへ隠れる。  
倒れてくる家具や落下物に注意をする。
- 火の始末はすばやく  
コンロの火を消し、ガスの元栓を開める。無理はしない。
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する
- 隣近所の安全を確認 ..... **1~2分**  
特にひとり暮らしの高齢者など避難行動要支援者がいる世帯には積極的に声をかけ、安否を確認する。火が出ていたら大声で知らせ、協力して消火をする。
- 余震に注意  
大きな地震の後は余震が発生する。
- さらに出火防止につとめる ..... **3分**  
ガスの元栓を開め、電気のブレーカーを切る。
- ラジオなどで情報を確認  
間違った情報にまどわされないように注意をする。  
● 電話はなるべく使わない  
● 家屋倒壊などのおそれがあれば避難する  
ブロック塀やガラスに注意。  
自動車は使用しない。
- 消火・救出活動  
隣近所で協力して消火や救出を。  
あわせて消防署へ通報する。
- 生活必需品は備蓄でまかなう ..... **5分**  
災害発生から3日間は、外からの応援は期待できない。  
● 災害情報、被害情報の収集  
● 壊れた家には入らないこと  
● 引き続き余震に警戒する
- 自主防災組織を中心に行動をする  
● 集団生活のルールを守る  
● 助け合いの心をもつ

## 災害弱者の安全のために

耳が不自由な方のために



- (日ごろの備え) ● 日常から筆記用具を携帯しておく。
- (災害時には) ● メモなどで、正確な情報を周囲の人に聞く。
- (介助者へ) ● 話すときは、口の開け方をハッキリとし、相手にわかりやすいようにする。  
● 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

# とにかく身の安全が第一 地震が発生したら

## 屋内では

- 揺れを感じたら、棚などの家具類から離れ、速やかにテーブルや机などの下に隠れる。隠れる場所がない場合には、近くにあるクッションなどで頭を守る。
- 揺れがおさまってから火元の始末をする（揺れている間は、鍋の湯などでやけどする可能性があり危険）。ガスの元栓も閉める。
- 割れたガラスなどを踏んでけがをしないよう、歩く場合は靴や底の厚いスリッパを履く。
- 外に避難できるように、玄関のドアや窓を開ける。
- エレベーターを使って避難しない。地震のときにエレベーターに乗っていたら、すべての階のボタンを押し、止まった階で降りて階段を使って避難する。
- デパートなどの施設では、カバンなどで頭を保護して壁際に寄り（映画館などにいた場合は座席の間に隠れる）、係員などの指示に従う。

## 安全に避難するために

建物の倒壊・崖地の崩落・火災など、危険が身近に迫ったとき、安全に避難をするためには、いくつかの基本があります。

### ■避難の前に

- 1 通電したときの火災を防ぐために、ブレーカーは必ず切る。
- 2 火元を、もう一度チェックする。
- 3 外出中の家族、近所の人、または遠隔地の親戚、友人などのために、メモを残す。
- 4 飛び火や盗難を防ぐために、窓や扉を開けて鍵をかける。
- 5 避難は徒歩で。
- 6 荷物は最小限に。両手が使えるようなリュックサックなどを使う。
- 7 ヘルメットや防災頭巾で頭を保護する。
- 8 衣類は長袖、長ズボンなどで肌を保護する。
- 9 靴は底の厚く、かかとが低いなど歩きやすいものがよい。



## 災害弱者の安全のために

目の不自由な方のために



- 〈災害時には〉
- 災害発生時には笛などを吹き、居場所を知らせる。
  - まわりの人に安全な場所までの誘導を依頼する。
- 〈介助者へ〉
- 災害時には、声をかけ情報を伝える。
  - 誘導する場合は、つえを持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持ってもらい半歩前をゆっくり歩く。

## 屋外では

- 路上で地震が起きたら、カバンなどで頭を保護して、公園や空き地など落下物の危険のない安全な場所へ避難する。その際、窓ガラス・看板などの落下物や自動販売機・ブロック塀・切れた電線などの倒壊物に注意をする。



- 自動車を運転中に地震が起きたら、急ブレーキをかけずに、ゆっくり道路の左側に自動車を寄せてエンジンを切る。車内にてカーラジオなどで状況把握に努め、状況を確認してから、徒歩で避難する。その際、キーをつけたままドアロックせずに、車検証を持っていく。

### ■避難するとき

- 1 高齢者、乳幼児、身体の不自由な人など、身近に助けを必要とする人がいないかどうかを確認。
- 2 家族や近所の人たちと協力しながら、できるだけ集まって行動する。
- 3 まず、近くの公園・校庭・空き地など広くて安全な場所へ。
- 4 避難拠点へは安全を確認しながら移動する。
- 5 移動するときには、余震に気をつけ、倒壊、落下、火災などのおそれがない経路を選ぶ。
- 6 間違った情報にまどわされず、公的な情報を把握し、落ち着いてルールと秩序を守る。

### 避難しなくてもよいとき

- 建物の倒壊、火災などの心配がない場合は、避難の必要はありません。
- 町ホームページ、テレビ、ラジオ、緊急速報メール、あんしんねっとびほろ（登録制メール）などで情報収集をしましょう。

# 家の中の安全対策

地震による揺れで、室内の家具が倒れたり、ガラスが割れて飛び散ったりすると、家の中が危険な場所になってしまいます。倒れた家具は避難の妨げにもつながります。日ごろから家具を固定するなどの安全対策を講じておきましょう。

## 家の中の安全対策ポイント

### 家具の転倒や落下を防止する

背の高い家具や重い家電製品は柱などに固定する。また、高い場所に落ちやすいものは置かない。

### 寝室や子ども・高齢者などがいる部屋には、倒れそうな家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。背の高い倒れやすい家具は置かないようにする。置く場合には必ず固定する。

### 寝室や出入口付近の家具を固定できない場合には

- 寝ている位置に家具が倒れてこないよう、向きを工夫する。
- 倒れても机などにひっかかり、自分の上に倒れてこないように置く。
- 倒れても出入口が開くような位置や向きに置く。

### 家の中に、家具のない安全なスペースを確保する

部屋が複数ある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめておく。難しい場合は、少しでも安全なスペースが確保できるように配置換えする。

### 出入口や通路にはものを置かない

いざというとき安全に避難できるように、玄関などの出入口やその間の通路には倒れやすいものを置かない。

### 通電火災を防ぐために

長期に家を離れる場合は、ブレーカーを落とすことや、感震ブレーカーの設置も有効です。



### 照明器具

1本のコードでつるすタイプのものは、鎖や金具で数か所留める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで留めておく。



### カーテン

防災加工されたものを使う。



### 窓ガラス

飛散防止フィルムを屋内側に貼る。



### 住宅用火災報知器

煙や熱を感知すると警報音で知らせる。家庭でも設置が義務付けられている。



### 暖房器具

耐震自動消火機能のあるものを使う。



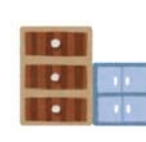
### テレビ

できるだけ低い位置に置き、金具やロープ、耐震マットなどで固定する。



### 本棚・タンスなど

上部をL字金具で固定するか、家具の下に板などをはさみ、壁面にもたれさせる。二段重ねの場合は、つなぎ目を金具で連結する。



### 食器棚

扉には開放防止金具をつける。棚板にはすべり止めシートを敷いたり、枠を設置したりして食器の飛び出しを防ぐ。ガラスに飛散防止フィルムを貼る。

## 災害弱者の安全のために

肢体の不自由な方のために



- 〈日ごろの備え〉
- 室内の安全スペースの確保と家具等の転倒防止対策を十分にする。
- 〈災害時には〉
- 無理な行動をとることを避けながらも、頭部を座布団や手で守る。
  - 車いすは安全な場所に止め、介助者の協力を求める。
- 〈介助者へ〉
- 階段では、2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
  - 介助者が1人の場合、おびいひもなどを用意しおぶって避難する。

# いつでも避難できる準備を

## 避難場所や連絡方法を確認しておきましょう

### 1. 避難場所を確認しておく

地震が起きたとき、どこに避難するか把握することが必要です。自分自身の避難場所がどこであるかを事前に確認しておきましょう。また、家族が離れているときに地震が発生することも想定して、家族それぞれの避難場所も知っておきましょう。安否を確認するときの目安になります。

### 2. 避難経路を確認しておく

避難場所までの経路を実際にたどっておくことも大切です。家族そろって避難場所まで行って、確認しておきましょう。この際、避難経路は2つ以上確認しておく、1つの経路が家屋の倒壊などで遮断されていても、あわてることなく別の経路をたどることができます。

### 3. 家族の連絡先を確認しておく

地震が発生したとき、家族が離れていることを想定して、

共通の連絡先を決めておきましょう。携帯電話が通じなくなることも考えて、確実に連絡のとれる方法が必要です。場合によっては、近くにいる親戚や知人より、遠くにいる親戚・知人の方が連絡がとりやすいこともあります。

### 4. ペットがいる人は

避難所におけるペットの受け入れに関しては難しいとされています。災害における救助は人間が最優先されるためです。水や食料も人間の分しか考慮されていません。

しかし、飼主としては長年連れ添ったペットと一緒にいたいでしょうし、安否が気遣われます。そこで、万が一の場合に備えてペットにこれだけのことはしておきましょう。

- ① 身元がわかるように連絡先を首輪などにつけておく。
- ② 他人に危害を加えないように、きちんと「しつけ」をしておく。
- ③ ペット用にも非常用品を備えておく（食糧、水、容器、リード、ファンを入れる道具）。

## 非常持出品などをチェックしましょう

**非常持出品** 両手が見えるリュックサックなどに、避難生活に必要なものをまとめて、目のつきやすいところに置きましょう。

飲料水・携帯ラジオ・着替え・スリッパ・非常食・マッチまたはライター・貴重品類・懐中電灯・救急セット・筆記用具・雨具・ウェットティッシュなど

**非常備蓄品** 地震後の停電やガス停止、断水等に備えましょう。飲料水や食料品は1人3日分程度を目安に備蓄しておきましょう。

- 停電に備えて…懐中電灯・ローソク（倒れにくいもの）
- ガス停止に備えて…簡易ガスコンロ・固形燃料
- 断水に備えて…飲料水（ポリ容器などに）※1人1日3ℓが目安です。

**防災準備品** 地震直後の火災や家屋転倒に備えましょう。

- 火災に備えて…消火器・三角消火バケツ・風呂の水の汲み置きなど
- 避難・救出に備えて…ハンマー・スコップ・バール・防災シート・のこぎりなど

**貴重品の保存場所** 各種保険証、預金通帳、印鑑、権利書などの貴重品は、保管場所を決め、万が一のときに家族の人がすぐに取り出せるようにしておきましょう。

保険証、預金通帳、クレジットカードの番号と連絡先などは、コピーをとり、写しを非常持出品と一緒に入れておくと、万が一のときに役に立ちます。

## 非常時の持出品・備蓄品 チェックリスト

災害後の救助や救援物資の到着までに、最低限必要なものは準備しておきましょう。

<b>貴重品類</b> 	<input type="checkbox"/> 現金（小銭を含む） ※公衆電話用に十円玉、百円玉	<input type="checkbox"/> 健康保険証
	<input type="checkbox"/> 自動車や家の予備鍵	<input type="checkbox"/> 身分証明書（運転免許証、パスポートなど）
	<input type="checkbox"/> 予備の眼鏡、コンタクトレンズなど	<input type="checkbox"/> 印鑑
<b>情報収集用品</b> 	<input type="checkbox"/> 携帯電話（充電器を含む）	<input type="checkbox"/> 緊急時の家族、親戚、知人の連絡先
	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ（予備電池を含む）	<input type="checkbox"/> 広域避難地図（ポケット地図でも可）
	<input type="checkbox"/> 家族の写真（はぐれたときの確認用）	<input type="checkbox"/> 筆記用具
<b>食料</b> 	<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> 飲料水
	<b>便利品など</b> 	<input type="checkbox"/> 防災頭巾またはヘルメット
<input type="checkbox"/> 懐中電灯（予備電池を含む）		<input type="checkbox"/> スリッパ
<input type="checkbox"/> 笛やブザー（音を出して居場所を知らせるもの）		<input type="checkbox"/> 軍手または皮手袋
<b>清潔・健康のためのもの</b> 	<input type="checkbox"/> 万能ナイフ	<input type="checkbox"/> マッチまたはライター
	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ	<input type="checkbox"/> 給水袋
	<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> 雨具（レインコート、長靴など）
<b>その他</b> 	<input type="checkbox"/> ビニール袋	<input type="checkbox"/> レジャーシート
	<input type="checkbox"/> アルミ製保温シート	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ
	<input type="checkbox"/> 救急セット	<input type="checkbox"/> トイレペーパー
	<input type="checkbox"/> 常備薬・持病薬	<input type="checkbox"/> 着替え（下着を含む）
	<input type="checkbox"/> タオル	<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ
	<input type="checkbox"/> 紙おむつ（幼児用・高齢者用など）	<input type="checkbox"/> 粉ミルク・哺乳瓶（赤ちゃんに必要なもの）
	<input type="checkbox"/> 生理用品	<input type="checkbox"/> その他自分の生活にかかせないもの

## 災害弱者の安全のために

知的障がいがある方のために

- （日ごろの備え）・災害時の行動を日ごろから繰り返し話して聞かせ、ブロック塀や自動販売機など、外での危険な場所も教えておく。
- （災害時には）・家族の人と行動する。できない場合は、近所の人に助けを求める。
- （介助者へ）・あわてないように優しい声で指示を出すか、手をとって安全な行動を促す。

## 災害弱者の安全のために

内部障がいがある方のために

- （日ごろの備え）・通院が不可能になった場合に備え、主治医のアドバイスをしておく。
- ・常備薬や特殊な治療食の蓄えについてかかりつけの医療機関に相談する。
- （災害時には）・かかりつけの医療機関の状況を確認する。
- ・帰宅できない状況でさししまった治療の必要がある場合は、最寄りの医療機関か防災関係機関に相談する。
- （介助者へ）・かかりつけの医療機関をはじめ、病院や救護所などの情報収集の手助けをする。

# 備えよう! 風水害対策

## 風水害とは!?

台風や大雨などは、洪水や内水はん濫、土砂災害などを引き起こします。特にここ数年、局地的かつ短時間に多量の雨が降る、いわゆる「ゲリラ豪雨(局地的大雨)」による被害が相次いでいます。風水害は、突発的な竜巻やゲリラ豪雨でなければ気象情報により事前対策ができるので、情報収集が重要になります。

※内水はん濫とは、大雨などにより排水が困難となった水路、下水道施設などから水があふれることをいいます。

## 警報・注意報

災害が起こるおそれがある場合には「注意報」、重大な災害が起こるおそれがある場合には「警報」が気象庁より発表されます。さらに災害の規模が数十年に一度と予想される場合には「特別警報」が発表されます。

雨の強さと観測区域の主な警報・注意報の発表基準

1時間雨量	10~20mm未満	20~30mm未満	30~50mm未満	50~80mm未満	80mm以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
イメージ	ザーザー降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感がある
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきで辺り一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
警報・注意報	大雨注意報 (25mm/h)		大雨警報 (45mm/h)		

**土砂災害警戒情報** 土砂災害発生の危険が高まったときには、気象庁と北海道から「土砂災害警戒情報」が発表されます。町では土砂災害警戒情報を基に避難に関する情報などを発表するので、情報を見逃さないようにしましょう。

## 危険は急激に迫ってくる!

風水害は、まだまだ大丈夫だと思っても、急激に状況が変化する場合があります。危険が迫ってからでは手遅れになることもあるので、異変を感じたらすぐに対応するよう心掛けておきましょう。

### ■風が強いとき

路上では

路上では、強風で看板が飛んだり、街路樹などが倒れたりする危険があります。近くの頑丈な建物に避難を。

屋内では

風圧や飛来物で窓ガラスが割れ、破片が吹き込む危険があります。内側からガムテープなどを貼り、カーテンを閉めておきましょう。

風が強いうちは窓に近づかないように。

## 風水害対策には情報収集が大切!

台風や大雨などは、地震と違い、時期や規模などがある程度予測することができます。

日ごろからハザードマップなどで浸水の危険がある地域や避難場所の位置などを把握しておきましょう。また、台風や大雨などが迫っているときは、テレビやラジオ、町ホームページなどの情報を確認し、外出を控え、家の周辺をチェックするなど、早めの対応を心掛けましょう。

### ■大雨のとき

河原では

河原などでは、上流の豪雨による急な増水や土砂崩れの危険があります。雨のときには川などに近寄らないことが一番です。もし河原にいるときに警報が聞こえたら、速やかに避難をしましょう。

車の運転中の豪雨は視界が悪いうえに、操作が利かなくなることもあります。できるだけ道路の中心よりの水が少ない場所を選びながら、ゆっくりと高台へ避難しましょう。浸水でエンストしたら、再始動させないようにしましょう。

路上で浸水してきたら

高い建物へ避難しましょう。その際、エレベーターは閉じ込められる危険があるので、なるべく階段を使って上の階へ行きましょう。

## 避難のポイント

町では、危険が迫ったときに広報車などにより避難の呼びかけを行います。河川の氾濫で浸水すると、あっという間に水かさが増すばかりでなく、流れも速くなって危険です。町の呼びかけに注意して、危険を感じたら直ちに避難しましょう。



### ■こんなときは

洪水・内水氾濫からの避難

- 無理に避難しないでください。
- 水深が30cm以上になると大人でも歩行が困難になります。
- 水深が膝上まであったり流れが速かったりするようなら、無理をせず自宅や近隣の建物の高所(2階以上)で救助を待ちましょう。
- 足元に注意して動きやすい服装に着替えましょう。



土砂災害からの避難

前兆現象があるとはいえ、予測が困難な土砂災害から避難するためのポイントは、土砂災害危険箇所と、土砂災害警戒情報の発表を見逃さずに早めの避難をすることです。

安全な場所へ避難することが困難な場合や判断が難しい場合は、崖から離れた部屋や、2階以上の部屋へ移動しましょう。

竜巻からの避難

気象庁から竜巻注意情報が発表されたら、今がまさに竜巻の発生しやすい気象状況です。空のよろずに注意して、雷や急な風の変化など積乱雲が近づくと兆しがある場合には、頑丈な建物内に移動するなど安全確保に努めましょう。



## 風水害にどう備えるか?

台風や豪雨は、正確な気象情報を収集し、予想される事態への対策をとることで、被害を最小限にとどめることができます。以下のポイントを踏まえて事前に準備しておきましょう。

### ■平常時の準備は

停電に備える

懐中電灯や携帯ラジオ、予備の電池を準備しておきましょう。

非常持出品の準備

避難勧告や指示(緊急)が出たとき、すぐに動けるように、貴重品や非常持出品の準備をしておきましょう。

断水に備える

飲料水を確保する。また、浴槽に水を張るなどして、トイレなどの生活用水の確保もしておきましょう。



### ■被害が心配されるときには

気象情報に注意する

テレビやラジオで発表される気象庁からの特別警報・警報・注意報や、消防団、警察署、町からの情報に注意しましょう。気象台が発表する情報は、電話(177番)でも確認することができます。また、崖の亀裂や水位の変化など、身近な環境の変化にも注意してください。

むやみに外出しない

台風が接近しているときや、豪雨の危険性があるときは、むやみに外出しないように。外出時には天気予報を確認し、少しでも危険を感じる場所には近づかないことです。



## 災害の情報をメールで受信できます。『あんしんねっとびほろ』に登録しましょう!

災害・避難情報など緊急性の高い防災情報などを希望する方に配信するサービスです。メールの受信が可能なパソコン、携帯電話やスマートフォンなどがあれば、どなたでも受信が可能ですのでぜひ登録してみてください。



- 左記の二次元コードを、携帯電話などのバーコードリーダー機能で読みとると、簡単にアクセスすることができます。
- 空メール送信後、数分ほどで仮登録メールが届きますので、メールの内容に沿って本登録を行ってください。
- 下記のメールアドレスからも登録可能です。  
touroku@anshin.town.bihoro.hokkaido.jp

防災  
豆知識

## 避難勧告と避難指示(緊急)って どう違うの?

町は、災害が発生した場合や発生するおそれがある場合、人命の保護や災害の拡大防止などのために、特に必要があると認められるときは、町ホームページ、テレビ、ラジオ、緊急速報メール、あんしんねっとびほろ(登録制メール)・訪問などを通じて、対象地域にお住まいの方々に避難実施のための必要な勧告、指示(緊急)を行います。また、早めの段階で避難行動を開始することを求める「避難準備・高齢者等避難開始」を発表することがあります。

避難準備・  
高齢者等避難開始

避難に向けた準備を呼びかけます。高齢者や障がいのある方などの避難に時間がかかる方は避難を始めましょう。

避難勧告

危険が迫っているときに避難を勧めます。小中学校などの避難所へ速やかに避難を始めましょう。

避難指示(緊急)

避難勧告よりも緊急性が増しているときに避難指示をするものです。小中学校などの避難所へ直ちに避難しましょう。

# 指定緊急避難場所・避難所一覧

No.	施設名	住所	指定緊急避難場所						指定避難所	地図座標	
			屋内			屋外					
			洪水	地震	土砂	洪水	地震	土砂			
1	あおやま南公園	青山南25	—	—	—	○	○	○	○	詳細MAP 4・B-2	
2	青柳地区ふれあい会館	稲美68	○	○	○	○	○	○	○	○	詳細MAP 4・C-2
3	みなみまち広場	東2条南3-1-1	—	—	—	○	○	○	○	○	詳細MAP 3・E-3
4	あさひ体育センター	稲美137	○	○	○	○	○	○	○	○	詳細MAP 4・D-2
5	スポーツセンター	大通南5	○	○	○	○	○	○	○	○	詳細MAP 3・E-4
6	あおやま公園	青山北1-1	—	—	—	○	○	○	○	○	詳細MAP 4・A-2
7	仲町中央集会室	仲町2	—	—	—	○	○	○	○	○	詳細MAP 1・E-4
8	コミュニティセンター	新町1-37	○	○	○	○	○	○	○	○	詳細MAP 1・E-4
9	地域振興センター	栄町3-2	○	○	○	○	○	○	○	○	詳細MAP 1・E-4
10	ひまわり公園	新町1-37	—	—	—	○	○	○	○	○	詳細MAP 1・E-4
11	ひがしまち公園	東町1-12	—	—	—	○	○	○	○	○	詳細MAP 2・A-5
12	みつはし北公園	三橋町2-11	—	—	—	○	○	○	○	○	詳細MAP 2・B-4
13	みつはしふれあい公園	三橋町南12	—	—	—	○	○	○	○	○	詳細MAP 4・A-1
14	老人憩の家	青山北2	○	○	○	○	○	○	○	○	詳細MAP 4・A-2
15	みその公園	稲美64	—	—	—	○	○	○	○	○	詳細MAP 4・C-3
16	いなみ北公園	日の出1-29	—	—	—	○	○	○	○	○	詳細MAP 2・C-5
17	あさひ公園	稲美100	—	—	—	○	○	○	○	○	詳細MAP 4・C-2
18	あさひ広場公園	稲美137	—	—	—	○	○	○	○	○	詳細MAP 4・D-1
19	美富団地公園	美富56	—	—	—	○	○	○	○	○	広域MAP A-5
20	みとみ公園	美富7	—	—	—	○	○	○	○	○	広域MAP A-5
21	報徳地区農作業準備休憩施設	報徳317	○	○	○	○	○	○	○	○	広域MAP E-1
22	田中地区農作業準備休憩施設	田中468	○	○	○	○	○	○	○	○	全体図
23	ひなみ地域センター	日並92	○	○	○	○	○	○	○	○	全体図
24	古梅総合センター	古梅236	○	○	○	○	○	○	○	○	全体図
25	豊富地区農作業準備休憩施設	豊富192	○	○	○	○	○	○	○	○	全体図
26	都橋地区構造改善センター	都橋	—	—	—	○	○	○	○	○	広域MAP D-5
27	駒生ふれあいセンター	駒生109	—	—	—	○	○	○	○	○	全体図
28	母と子の家	美富416-12	—	—	—	○	○	○	○	○	全体図
29	美幌みらい農業センター	美富29	—	—	—	○	○	○	○	○	詳細MAP 4・C-5
30	てん菜共同育苗施設	豊幌36	—	—	—	○	○	○	○	○	全体図

No.	施設名	住所	指定緊急避難場所						指定避難所	地図座標			
			屋内			屋外							
			洪水	地震	土砂	洪水	地震	土砂					
31	登栄集会室	登栄102	—	—	—	○	○	○	○	○	全体図		
32	旧栄森自然の家	栄森37	—	—	—	○	○	○	○	○	全体図		
33	美和南会館	美和355	—	—	—	○	○	○	○	○	全体図		
34	美和北会館	美和32	—	—	—	○	○	○	○	○	全体図		
35	昭野会館	昭野151-3	—	—	—	○	○	○	○	○	全体図		
36	美幌博物館(みどりの村駐車場)	美富204	○	○	○	○	○	○	○	○	○	詳細MAP 1・A-5	
37	高野構造改善センター	高野184	—	—	—	○	○	○	○	○	全体図		
38	豊岡自治会館	豊岡278-2	○	○	○	○	○	○	○	○	全体図		
39	町民会館(びほーる)	東2条北4-9-9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	詳細MAP 4・A-1	
40	美幌中学校	稲美130	○	○	○	○	○	○	○	○	○	詳細MAP 4・D-1	
41	北中学校	鳥里4-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	詳細MAP 1・C-3	
42	美幌小学校	西2条北4-1-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	詳細MAP 3・D-1	
43	東陽小学校	栄町3-6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	詳細MAP 2・A-4	
44	旭小学校	稲美140	○	○	○	○	○	○	○	○	○	詳細MAP 4・D-2	
45	美幌高校	報徳94	○	○	○	○	○	○	○	○	○	詳細MAP 2・C-2	
46	旧美幌中央保育所	仲町1-142	○	○	○	○	○	○	○	○	○	詳細MAP 1・D-5	
47	美幌保育園	西1条北2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	詳細MAP 3・D-2	
48	東陽保育園	栄町4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	詳細MAP 1・E-4	
49	福住保育所	福住635	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全体図	
50	しゃきっとプラザ(臨時避難所)	東3条北2-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	詳細MAP 4・A-2

**指定緊急避難場所**……洪水や土砂災害などの災害が発生、または発生するおそれがある場合に、その危険から緊急的に逃げるための場所として、安全性等の一定の基準を満たす施設です。  
災害種別に応じて指定されており、避難の際には、発生するおそれのある災害に適した指定緊急避難場所を避難先として選択しなければなりません。

**指定避難所**………自宅が浸水、損壊するなどして家に戻れなくなった住民が一時的に生活するための施設で、適切な規模や安全性等の一定の基準を満たす施設です。指定避難所と指定緊急避難場所を相互に兼ねる施設もあります。

No.	施設名	住所	地図座標
1	介護老人保健施設アメニティ美幌	仲町 2-38-2	詳細 MAP 1・D-4
2	特別養護老人ホーム緑の苑	稲美 105-7	詳細 MAP 4・C-1
3	あさひ在宅ケアセンター	稲美 105-6	詳細 MAP 4・C-1

※上記の施設では、施設入居状況により収容人数が異なるため、収容人数は都度協議するものとする。

### 福祉避難所(避難行動要支援者収容可能施設)……

通常の避難所では収容および保護が困難な場合、避難行動要支援者等については上記に掲げる施設を避難所とします。なお避難にあたっては、原則「避難所」に収容後、そこでの収容および保護が困難と判断される場合、次の「福祉避難所」に移動するものとします。